

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務 I A			科目コード	13340101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	前期	60	4	無
授業の概要・目的	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容とする。</p> <p>テキストを通じた授業では、社会人としてのマナーを身に付け、実践する。学校行事に全力で取り組み、コミュニケーション能力を身につける。</p> <p>社会に出ていくうえで必要となる基礎的な情報を知り、自分のキャリアをどのように築いていけばいいかを考える。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な個人目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・ マナー、礼儀を身に付け、社会人としての判断ができる。 ・ 自己理解の深化、職業理解の促進、キャリアプランニング能力の育成、社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力、問題解決力、情報収集能力などのスキルの習得。 					
評価項目	期末試験 95%、出欠席 5%					
評価基準	<p>期末試験：各単元の理解度をはかる。試験を実施し評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<p>「改訂版 ビジネスマナー基本テキスト」(キャリア総研)</p> <p>「就活支援ブック 社会探求編」(株式会社 キャリタス)</p>					
関連科目						
授業計画	<p>1. 学校行事</p> <p>①新入生オリエンテーション 15 コマ</p> <p>②1 年生合宿 12 コマ</p> <p>2. ビジネスマナーの基本 4 コマ</p> <p>①基本姿勢</p> <p>②重要性</p> <p>③身嗜み</p> <p>④言葉遣い</p> <p>⑤挨拶の基本</p> <p>⑥理解度チェック</p> <p>3. ビジネスマナーとルール 6 コマ</p> <p>①目標の立て方</p> <p>②仕事の進め方</p> <p>③時間管理</p> <p>④報告連絡相談</p> <p>⑤理解度チェック</p>			<p>4. キャリア 16 コマ</p> <p>①就活のプロセスの理解</p> <p>②自己理解</p> <p>③世の中、社会を知る</p> <p>④社会人基礎力</p> <p>⑤自己分析</p> <p>⑥ビジネスを知る</p> <p>⑦業界、職種を知る</p> <p>⑧価値観と適性</p> <p>⑨就活／社会人に向けて一計画行動と日々の習慣</p> <p>5. キャリアチャレンジ 5 コマ</p>		

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	情報リテラシー			科目コード	13344101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	前期	20	1	無
授業の概要・目的	インターネットの普及により便利になった知識や技術だけでなく関連するトラブルや事件を学習することで、ネット社会で生きるために必要なスキルと経験を身に付けさせる。					
到達目標	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた授業、インターネット社会の規範や規律を学ぶ。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会でのインターネット利用の操作や知識、その利便性について理解すること。 ・インターネットに関係するトラブルや事件を知り、自身を守る法律など理解すること。 					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験 (80%) ・ 確認テスト (10%) ・ 出欠席 (5%) ・ 提出物 (5%) 					
評価基準	<p>情報倫理に関する理解度をはかる。</p> <p>試験、確認テスト、レポート提出を実施し評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	玉江 孝弘			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークエンジニア 8 年					
テキスト・参考文献	「インターネット社会を生きるための情報倫理 改訂版」実教出版					
関連科目						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報と情報社会 ・ 個人情報と知的財産 ・ ネットにおけるコミュニケーションとマナー ・ 情報社会における生活 ・ 情報セキュリティとネット被害 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	簿記会計			科目コード	13335201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	前期	88	4	無
授業の概要・目的	日商簿記 3 級の合格を通じて、企業内部における会計の流れについてイメージをもつことができる。					
到達目標	<p>【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、アクティブラーニングを通じた考え方の醸成。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜそうなるのか、考えかたを理解する。 ・貸借対照表、損益計算書の読み方を理解する。 					
評価項目	期末試験 (60%)、確認テスト (20%)、授業態度 (5%)、出欠席 (5%)、提出物 (10%)					
評価基準	日商簿記検 3 級レベルの模擬試験、確認テスト、課題提出を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	松山 友紀			常勤		
実務経験者による授業	<ul style="list-style-type: none"> ・税理士事務所にて税理士補助として法人・個人の監査業務。14 年 ・職業訓練委託校にて簿記講師。2 年 					
テキスト・参考文献	「合格テキスト日商簿記 3 級」(TAC 株式会社)					
関連科目						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の基本原理 ・諸取引の処理について 現金預金、売掛金と買掛金、その他債権債務、手形、電子記録債権、電子記録債務、引当金、商品、有形固定資産、収益と費用、税金 ・決算 試算表の作成、精算表、決算整理、決算整理後の残高試算表、帳簿の締切り ・株式会社 資本金、剰余金の配当など 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	簿記演習			科目コード	13335101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	前期	66	4	無
授業の概要・目的	日商簿記検定 3 級取得に向けた検定対策授業を行う。					
到達目標	<p>【指導方法】 グループ内における演習、過去問題に取り組み、得点を向上させる。 Web サイトと電子媒体を活用し、学生の取り組みの効果を高める。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検定取得に向けたモチベーションを保つ。 ・ 周囲と協力して取り組む姿勢を身に着ける。 					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テスト (50%) ・ 課題提出 (30%) ・ 日商簿記検定 3 級の得点 (20%) 					
評価基準	<p>日商簿記検 3 級レベルの確認テスト、課題提出実施するとともに検定結果を含めて評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「合格テキスト日商簿記 3 級」(TAC 株式会社) 過去問プリント					
関連科目						
授業計画	日商簿記検定 3 級の過去問題・模擬問題の実施 問題演習、解説					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	Excel 演習 I			科目コード	13311101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	前期	32	2	無
授業の概要・目的	Microsoft Office Specialist の Excel 2019 検定の全員取得をめざす。 Excel の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。					
到達目標	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる Excel スキルの教示。 【学生に期待すること】 ・実社会での Excel の役割について理解すること。 ・Excel の利便性を理解すること。					
評価項目	・ 期末試験 (75%) ・ 提出物 (20%) ・ 出欠席 (5%)					
評価基準	Microsoft Office Specialist Excel 2019 レベルの試験、課題提出を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール 6 年					
テキスト・参考文献	「よくわかるマスター MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集」(FOM 出版)					
関連科目	Excel 演習 II、応用					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートやブックの作成と管理 ・ セルやセル範囲の作成 ・ テーブルの作成 ・ 数式や関数の適用 ・ グラフやオブジェクトの作成 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	ビジネスリテラシー I			科目コード	13341101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	前期	17	1	無
授業の概要・目的	就職試験で頻出問題である SPI について、出題のパターン毎の代表的解答方法の知識を取得するとともに、想定される試験時間内に正確に解答する能力の取得をめざす。					
到達目標	SPI で出題される代表的なパターンについて、正確に解答を導くことができる。					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テスト／期末試験 (95%) ・ 出席点 (5%) 					
評価基準	SPI 非言語分野の範囲に対して理解し、試験を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	テキスト・副読本 2019 年度版 図解&書き込み式 ドリル式 SPI 問題集					
関連科目						
授業計画	SPI 非言語分野					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	マーケティング I			科目コード	13351101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	前期	17	1	無
授業の概要・目的	マーケティングの基礎知識を習得し、情報を扱う上での考え方を身につける。					
到達目標	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた実践的授業、アクティブラーニングを通じた考え方の醸成。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜそうなるのか、考えかたを理解する。 ・実社会でのマーケティングの知識の活用事例を理解すること。 					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・前期試験 (50%) ・確認テスト(40%) ・出欠点 (5%) ・授業態度 (5%) 					
評価基準	<p>マーケティングの仕組みを理解し、社会の製品・サービスが売れる仕組みについて試験、確認テストを実施し評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール 6 年					
テキスト・参考文献	「ベーシック・マーケティング 第 2 版」(同文館出版株式会社)					
関連科目						
授業計画	<p>マーケティング理論の基礎知識を習得。</p> <p>マーケティングの発想から各種戦略、消費者行動分析、製品戦略へとつなげ、市場の仕組みを理解する。</p>					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	PowerPoint 演習			科目コード	13312101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	前期	34	2	無
授業の概要・目的	Microsoft Office Specialist の PowerPoint 2019 検定の全員取得をめざす。PowerPoint の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。					
到達目標	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる PowerPoint スキルの教示。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会での PowerPoint の役割について理解すること。 ・ PowerPoint の利便性を理解すること。 					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験 (70%) ・ 模擬試験 (MOS PowerPoint 2019) (20%) ・ 出欠席 (5%) ・ 提出物 (5%) 					
評価基準	<p>Microsoft Office Specialist PowerPoint 2019 レベルの試験、課題提出を実施し評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール 6 年					
テキスト・参考文献	「よくわかるマスター MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集」(FOM 出版)					
関連科目						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーションの作成と管理 ・ 図形やスライドの挿入と書式設定 ・ スライドコンテンツの作成 ・ 画面切り替えやアニメーションの適用 ・ 複数のプレゼンテーションの管理 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	ペン字			科目コード	13345101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	前期	15	1	無
授業の概要・目的	<p>美しい文字（読み手が読みやすく、丁寧に書かれた文字）を書くことの大切さを理解し、その為の正しい姿勢・呼吸・ペンの持ち方を学ぶ。</p> <p>ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形を学ぶ。</p> <p>履歴書・封筒（縦・横）の書式を理解し、美しく紙面にバランスよく書けるようにするとともに学び続ける意欲を持たす。</p>					
到達目標	<p>書き込み式のテキストを使い、ポイントを理解し、反復練習し、上達をはかる。</p> <p>ひらがな、漢字基本点画、部首別解説では、生徒が板書した字をもとに重要ポイントを具体的に応用が利くように解説する。</p> <p>個別指導、声かけにより成長した所、今後取り組むべき課題を明確にし、楽しく学び続ける意欲を持たせる。</p>					
評価項目	履歴書 45%、封筒たて 10%、封筒よこ 10%、礼状たて 10%、礼状よこ 10%、授業態度 5%、感想 5%、出欠席 5%					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	三宅 佳与			非常勤		
実務経験者による授業	書塾で教鞭をとり 30 年 現在は学校教員の指導講座ももつ					
テキスト・参考文献	「美しく正しい字が書ける ペン字練習帳」（新星出版）					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本の習得（ひらがな楷書） 2. カタカナの基本 3. 漢字について 4. 数字とアルファベット 5. はがき、封筒の表書きについて 6. 履歴書について 7. まとめ 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	ビジネス数学			科目コード	13343101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	前期	17	1	無
授業の概要・目的	ビジネスで求められるビジネス数学力（「把握力」、「分析力」、「選択力」、「予測力」、「表現力」）を高める。そして、ビジネスシーンに潜んでいる数字を見つけ出し、それらの関係性をしっかりと把握し、目的に応じてそれらを組み合わせる思考プロセスを身につけることを目的とする。					
到達目標	ビジネス数学検定 3 級の問題を通して、ビジネスで必要とされる、数字感覚を身につけるとともに、数字が持つ意味を理解できる。					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験 (80%) ・ 各単元の確認テスト (15%) ・ 出欠席 (5%) 					
評価基準	ビジネス数学 3 級レベルの試験を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	玉江 孝弘			常勤		
実務経験者による授業	ネットワークエンジニア 8 年、事業企画 3 年、経営企画 4 年					
テキスト・参考文献	「ビジネス数学検定 3 級」日経 BP 社					
関連科目						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ①把握力 ②分析力 ③選択力 ④予測力 ⑤表現力 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	SDGs			科目コード	13346101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	前期	19	1	無
授業の概要・目的	持続可能な社会を世界レベルで実現するために、2015 年 9 月に国連で合意された世界共通の目標「SDGs」について、17 の目標（ゴール）の内容、諸外国のビジネスや投資との関係性、CSR との違い、人材育成の観点までを理解する。そして、私たち一人ひとりにどんな関わりがあるのかを考える。					
到達目標	SDGs への理解を深める。主体的にグループワークへ参加する姿勢を養う。当事者意識を持った取り組みができる。					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ レポート (60%) ・ 課題 (15%) ・ 発表 (20%) ・ 出欠点 (5%) 					
評価基準	SDGs の観点から見た問題を見つけ、解決策を考えることができるか、また、自身の考えをグループで共有し、発表につなげることができるかをレポート、課題提出、発表で評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「自分ごとからはじめよう SDGs 探究ワークブック～旅して学ぶ、サステイナブルな考え方～」 株式会社 ワークアカデミー					
関連科目						
授業計画						

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	データ分析 I			科目コード	13350101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	前期	28	1	無
授業の概要・目的	データマーケティング育成に伴う、データの活用方法、POS データの分析手法について学習する。データから、情報をよみとり、提案内容を作成することができる。					
到達目標	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた実践的授業、データ分析に求められる考え方の教示。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データ分析の考え方について理解すること。 ・ 実社会での情報活用や問題解決の手法の必要性を理解する事。 					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テスト／期末試験 (80%) ・ 課題 (15%) ・ 出席点 (5%) 					
評価基準	<p>データを分析し、その数値分析から売上を伸ばす提案ができるかを試験、課題提出を実施し評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<p>「データマーケティング養成講座 初級編」</p> <p>一般社団法人 ビッグマーケティング教育推進協会</p>					
関連科目	<p>データ分析 I・II</p> <p>統計概論</p> <p>データ分析演習 II</p>					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ①ビッグデータとは ②データ活用 ③グラフ作成 ④企業提案のための思考法 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	ビジネス実務IIA			科目コード	13340201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1年次	後期	63	4	無
授業の概要・目的	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とし講義内容とする。</p> <p>就職に必要なマナー、面接対策、コミュニケーション力などの実践力を養い、自分の将来をしっかりと見つめて働くことや職業への理解を深めていく。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強みを知り、効果的に自分を伝える方法を学ぶ。 ・社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。 ・明確な目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・マナー、礼儀を身につけ、社会人としての判断ができる。 ・自己分析、応募書類の書き方、面接のコツなど、就活テクニック向上につながる知識を得る。 ・第1回就職対策の準備をする。 					
評価項目	期末試験 65%、出欠席 5%、提出物 30%					
評価基準	<p>期末試験：各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。</p> <p>※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<p>「改訂版 ビジネスマナー基本テキスト」(キャリア総研)</p> <p>「就活支援ブック 社会探求編」(株式会社 キャリタス)</p>					
関連科目						
授業計画	<p>1. キャリア 8コマ</p> <p>①自己PR</p> <p>②履歴書、自己紹介書</p> <p>③面接対策</p> <p>2. 就職対策 26コマ</p> <p>3. 電話の対応 5コマ</p> <p>①電話の基本マナー</p> <p>②電話の受け方・かけ方</p> <p>③不在者宛での電話対応</p> <p>④伝言のポイント</p> <p>⑤携帯電話のマナー</p> <p>⑥電子メールの基本マナー</p>			<p>4. 対応のマナー 5コマ</p> <p>①来客対応</p> <p>②案内の基本</p> <p>③席次の基本知識</p> <p>④お見送りの基本</p> <p>⑤訪問の予約の取り方、取次依頼、面会時のマナー</p> <p>⑥名刺交換マナー</p> <p>⑦お茶の出し方</p>		

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	データ分析Ⅱ			科目コード	13350201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	データマーケティング育成に伴う、データの活用方法、POS データの分析手法について学習する。データから、情報をよみとり、提案内容を作成することができる。					
到達目標	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた実践的授業、データ分析に求められる考え方の教示。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の考え方について理解すること。 ・実社会での情報活用や問題解決の手法の必要性を理解する事。 					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト／期末試験（80%） ・課題（15%） ・出席点（5%） 					
評価基準	<p>データを分析し、その数値分析から売上を伸ばす提案ができるかを試験、課題提出を実施し評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<p>データマーケティング養成講座 初級編</p> <p>一般社団法人 ビッグマーケティング教育推進協会</p>					
関連科目	<p>データ分析Ⅰ・Ⅱ</p> <p>統計概論</p> <p>データ分析演習Ⅱ</p>					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ①マーケティングの基礎 ②ID-POSデータ ③外部データの利用 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	Excel 演習 II			科目コード	13311201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	39	2	無
授業の概要・目的	Microsoft Office Specialist の Excel 2019 検定の全員取得をめざす。Excel の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。					
到達目標	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる Excel スキルの教示。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会での Excel の役割について理解すること。 ・Excel の利便性を理解すること。 					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 (70%) ・模擬試験 (MOS Excel 2019) (20%) ・提出物 (5%) ・出欠席 (5%) 					
評価基準	<p>Microsoft Office Specialist Excel 2019 レベルの試験、課題提出を実施し評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール 6 年					
テキスト・参考文献	「よくわかるマスター MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集」(FOM 出版)					
関連科目	Excel 演習 I、応用					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・高度な機能を使用した数式の作成 ・高度な機能を使用したグラフやピボットテーブルの作成 ・ユーザ設定の書式やレイアウトの適用 ・ブックの管理と共有 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	ビジネスリテラシー II			科目コード	13341201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	就職試験で頻出問題である SPI について、出題のパターン毎の代表的解答方法の知識を取得するとともに、想定される試験時間内に正確に解答する能力の取得をめざす。					
到達目標	SPI で出題される代表的なパターンについて、正確に解答を導くことができる。					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テスト／期末試験 (80%) ・ 課題 (15%) ・ 出席点 (5%) 					
評価基準	SPI 言語分野の範囲に対して理解し、試験、課題提出を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	2019 年度版 図解&書き込み式 ドリル式 SPI 問題集					
関連科目						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ SPI 言語分野 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	Word 演習			科目コード	13310101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	60	4	無
授業の概要・目的	Microsoft Office Specialist の Word 2019 検定の全員取得をめざす。Word の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。					
到達目標	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる Word スキルの教示。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会での Word の役割について理解すること。 ・Word の利便性を理解すること。 					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験 (MOS Word 2019) (60%) ・提出物 (35%) ・出欠席 (5%) 					
評価基準	Microsoft Office Specialist Word 2019 レベルの試験、課題提出を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	森谷 郁恵			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「よくわかるマスター MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集」(FOM 出版)					
関連科目	PowerPoint 演習 Excel 演習 I Excel 演習 II					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・文書の作成と管理 ・文字、段落、セクションの書式設定 ・表やリストの作成 ・参考資料の適用 ・オブジェクトの挿入と書式設定 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	マーケティングII			科目コード	13351201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	マーケティングの基礎知識を習得し、情報を扱う上での考え方を身に着ける。					
到達目標	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた実践的授業、アクティブラーニングを通じた考え方の醸成。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜそうなるのか、考えかたを理解する。 ・実社会でのマーケティングの知識の活用事例を理解すること。 					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・後期試験 50% ・確認テスト 40% ・出欠席 5% ・授業態度 5% 					
評価基準	<p>マーケティングの仕組みを理解し、社会の製品・サービスが売れる仕組みについて試験、確認テストを実施し評価する。</p> <p>※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	「ベーシック・マーケティング 第2版」(同文館出版株式会社)					
関連科目						
授業計画	ブランド戦略、価格戦略、コミュニケーション戦略と各種戦略について発展的に学習し、SNS マーケティング等の近代的な戦略についても理解する。					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	インターンシップ実習			科目コード	13370201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	実習	1 年次	後期	70	2	無
授業の概要・目的	就職活動を控え、実社会での経験を積むことで、就業イメージの形成を図る。また、学習内容の実践的活用を行う。					
到達目標	実習を通して、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができること。各自がしっかりとした職業意識をもって、主体的に学ぶことが目標。					
評価項目	専門業務の遂行について、ビジネスマナーについて、実習態度について 95% 出欠席 5%					
評価基準	実習先からの評価 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	実習事前・事後指導					
授業計画	企業内実習					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	実習事前・事後指導			科目コード	13370101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	1 年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	学内で事前指導を受け、実習の心構えや目標を学んだのちに、職場での就業体験を行う。事後指導での振り返りや成果発表によって、自己の職業適性や将来設計について考える機会とし、主体的な職業選択や高い職業意識の形成に繋げる。					
到達目標	実習の目的、心得、マナーについて説明し、それらを理解したうえで、実習に取り組むことができるようにする。事後指導では実習を経て得られた成果と課題を省察し、今後の課題の探究方法を明らかにしていく。					
評価項目	企業研究 (20%) 日誌 (20%) 振り返りレポート (10%) プレゼンテーション (45%) 出欠席 (5%)					
評価基準	※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	インターンシップ実習					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 業界研究・企業研究 3. 事前指導（一日の流れ、マナー等） 4. 実習の目標設定 5. 事後指導（お礼状、お礼メール） 6. 目標に対する振り返り 7. 実習成果報告会 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	プレゼンテーション演習 I			科目コード	13320101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	目的に合わせたプレゼンテーションの作成。 プレゼンテーション作成における基礎的な考えかたを理解する。					
到達目標	プレゼンテーション原稿作り。 パワーポイントの作成技術の習得。 プレゼンテーションの体験学習。					
評価項目	提出物 60% 実習に伴う相互評価 30% 出席点 5% 授業態度 5%					
評価基準	クラス内発表で一定レベル以上技術取得を課題提出を実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール 6 年					
テキスト・参考文献	「よくわかるマスター MOS PowerPoint 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集」 (FOM 出版)					
関連科目						
授業計画	プレゼンテーションの技術習得					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	ビジネスプランニング I			科目コード	13352101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	ビジネスプランコンテストに向けたアイデアをまとめ、プレゼンテーションを作る。					
到達目標	<p>【指導方法】 様々な事例を紹介しながら、学生のアイデアを引き出す</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自由な発想でアイデアを出す ・ グループで一体となって、取り組む。 					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物 (90%) ・ 出欠点 (5%) ・ 授業態度 (5%) 					
評価基準	グループでビジネスプランを検討し、プレゼン形式で表現できることを課題提出・プレゼンを実施し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	玉江 孝弘			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニア 2 年、サービス開発 6 年、事業企画 3 年、経営企画 4 年					
テキスト・参考文献	ビジネスモデル 2.0 図鑑					
関連科目						
授業計画	ビジネスプランコンテストへの応募を通じて、アイデアの創出、相手にわかりやすく伝えるプレゼンテーションを行う。					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	マーケットリサーチ			科目コード	13353101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	企業や仕事について理解するために、業界や職種について情報収集をする。そして、就職活動に向けて、職業選択をするための基礎知識として役立つ。					
到達目標	<p>【指導方法】</p> <p>ビジネスの成り立ちと企業活動について仕組みを講義する。そして、グループごとに、産業・業界の動向、職種の特徴はどういうものなのか調べて、クラス内で共有していくために、プレゼン資料を作成させる。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <p>業界や職種についての理解を深め、将来の自分の働き方について考える機会にする。また、情報収集を通して、探究する重要性に気付くことができることを期待する。</p>					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼン発表（相互評価）（70%） ・ レポート提出（25%） ・ 出欠席（5%） 					
評価基準	<p>様々な業界や職種についての理解を深め、自分の働き方について考えることができるかをプレゼン、レポートを実施し評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール 6 年					
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① ビジネスの成り立ちと企業活動について ② 業界研究 ③ 職種研究 					

デジタルビジネス学科 2025 年度

科目名	データ分析演習 I			科目コード	13350601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	1 年次	後期	54	3	無
授業の概要・目的	Excel を使ったデータ分析の方法を行えるようになる。					
到達目標	データ分析の考え方について理解し、実社会での情報活用や問題解決の手法の必要性を理解する。					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テスト／期末試験 (80%) ・ 課題 (15%) ・ 出席点 (5%) 					
評価基準	<p>データを分析し、その数値分析から売上を伸ばす提案ができるかを試験、課題提出を実施し評価する。</p> <p>※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	ビジネス統計スペシャリスト エクセル分析一般 株式会社 オデッセイコミュニケーションズ					
関連科目	データ分析 I ・ II 統計概論 データ分析演習 II					
授業計画	①ビジネスデータ把握 ②課題発見手法 ③仮説検証法					